

Japan Evangelical Theological Society

# 日本福音主義神学会

## J·E·T·S・ニュース 第11号

発行所 〒186 国立市谷保8453-2 東京基督神学校内

日本福音主義神学会の全国研究会議も、回を重ねて第四回。学的かつ実践的な研究会議が、「福音と文化」という主題のもとに、十一月三十日より十二月二日にかけて、日本文化を代表する京都で開催される運びとなりました。準備は着々と進められています。発題講演の講師陣として全国から優れた先生がたのご奉仕をいただきます。有益で示唆に富むプレゼンテーションがなされます。ご期待のうえ、早めに席をご予約申込みください。

今回のテーマ「福音と文化」は、私たちの共通課題であるキリスト信仰の伝達・継承および教会形成に、きわめて重大な意味をもつております。その意義について、す

でに昨年より東部、西部、九州、中部など地区ごとの研究会として討議の輪が広がっております。そ

れらが今、大きなうねりとなつて秋の全国研究会議に押し寄せて来

ようとしています。

キリスト信仰は、客観面において、古代ユダヤ教という文化的土

壤から精神的スピリットを受け継ぎ、しかも、それを昇華するとい

### 福音と文化

#### 第四回日本福音主義神学会神学研究会議について

日本福音主義神学会の全国研究会議も、回を重ねて第四回。学的かつ実践的な研究会議が、「福音と文化」という主題のもとに、十一月三十日より十二月二日にかけて、日本文化を代表する京都で開催される運びとなりました。準備は着々と進められています。発題講演の講師陣として全国から優れた先生がたのご奉仕をいただきます。有益で示唆に富むプレゼンテーションがなされます。ご期待のうえ、早めに席をご予約申込みください。

他方、旧約聖書において、レビ記一章七以下などで豚が汚れた動物とされるのは、単に衛生学上の問題でなく、当時の祭儀において豚を犠牲として多用したカナン文化との対決であり、「子やぎを、

その母親の乳で煮てはならない」(出エジプト二三・一九ほか)と

の戒めも同様にカナンの豊穣宗教を意識したものであることが、ウガリット文書から解明された実例があります。だが、有名なナアマノ将軍のいやし(II列王五章)の結末においては、異教神リモンの神殿で身をかがめる習慣が預言者エリシャによって許可されているような印象が与えられます。これは文化許容の一例でしょうか。

同じような課題が、日本にもあります。日本の文化思想的な背景は、眞のキリスト信仰の根をくさ

らせる沼地だとする視点があり、あるいは祖先崇拜を認めるパンフ

レットを配布する教会があります。

日本文化は原則的に異教的である

という点を強調し、「対決」を基

調として教会形成に取り組む群

があります。仏教的葬儀に、私た

ちはどのような態度で臨むべきで

しょうか。それらの発展として、

モンスター気候下での「水牛神学」

に相当するような日本的な神学が、

福音主義的に可能でしょうか。

福音生活のさまざまな局面にお

いて、文化との接触・格闘があり

ます。それ故、この度の研究会議

においてすべての結論を得ること

是不可能でしょう。にもかかわらず、先生がたの示唆に富む講演の

福音主義的に可能でしょうか。

福音生活のさまざまな局面にお

いて、文化との接触・格闘があり

ます。それ故、この度の研究会議

## ■東部部会報告■

(一九八六年九月～一九八七年五月)

一、理事会

一九八六年十月十三日(月) し  
十四日(火)。於川崎市民プラザ。

出席者八名。欠席者十一名。

・第四回神学研究会議準備委員

会に、東部部会から、代表と

して、横山武氏を派遣すること

とにした。

・東部部会の活性化について率

直な意見交換の時を持った。

・三名の正会員としての入会、

二名の正会員の西部部会から

の転入を認めた。

・一九八七年的春の総会と研究

会の準備をした。

一九八七年一月二十六日(月)。於OSCC。出席者十名。欠席者九名。

・J·E·T·S、ニュース第

十一号を一九八七年七月末頃

発行することにした。

・春の総会と研究会の準備をし

た。

二、第十八回総会・研究会の報告

・日時 一九八七年五月十八日(月) 午後一時～五時三十分

・場所 OSCCチャペル  
・総会

・研究会  
テーマ 「福音と文化の視点から見る安息日論」

コーディネーター 中沢啓介氏  
発題者 木内伸嘉氏、村瀬俊夫  
氏、D·モーア氏  
四十名余の出席があった。

## 三、新入会員の審査

・正会員  
山見りつ子氏(バプ教會連合  
フィリピン宣教師) SIL Nasuli  
Malaybalay Bukidnon  
Philippines 8201。

日置善一氏(同盟基督教師、  
東京キリスト教学園学生課長  
代行) 国立市谷保八四五三、  
電〇四二五・一七七一・二一三一、  
〒一八六。

木内伸嘉氏(基督長老教師、  
東京基督神学校講師) 国立市  
谷保七一六六一一、電〇四二  
五一七二一三一三六、〒一八  
六。

報告

・第四回神学研究会議について。  
・会員名簿の修正 三川栄二師  
追加、小平牧生師・杉山明師  
転出により削除。

・中部部会振替口座開設の件。  
・編集会議報告。

審議事項

・一九八七年度総会・講演会に  
ついて……日時、議案、講演  
会講師の決定。

・一九八七年度行事予定につい  
て。

②一九八七年三月九日(月)  
午前十一時より 金山キリスト  
道所牧師) 田無市西原町五一  
五一五、電〇四二四一六三一

○五六三、〒一八八。  
四、一九八七年度の理事会の役員  
理事長 丸山忠孝

書記 大滝信也

会計 中沢啓介、小島彬夫  
総務 片岡伸光  
(書記 大滝信也)

・会計報告……会費納入状況に  
ついて、一九八六年未現在の  
会員の確認。

・第四回研究会議について。

・編集会議報告。

審議事項  
・一九八七年度総会・講演会の  
準備……日時の再確認、役割  
分担の決定。

・秋期研究発表会について……  
十一月九日、発表者候補を鈴  
木師、西堀師とした。  
・全国理事会会場の件……担当  
黒川師。

③一九八七年五月十一日(月)  
午前十時より 金山キリスト  
教会  
出席 河野、黒川、鈴木、金田、  
安村

審議事項  
・一九八七年度総会議案の確認  
……一九八六年度行事・会計  
報告の承認、一九八七年度予  
算案・事業計画案の承認、理  
事改選法の改正案、事務所移  
転案の確認。

二、第六回中部部会総会 (出席  
者九名、オブザーバー一名)  
出席 河野、黒川、鈴木、金田、  
安村

- ・ 日時 一九八七年五月十一日  
 時 (月) 午前十時三十分~十二時
- ・ 場所 同盟福音 金山キリスト教会  
 礼拝 司会 斎藤義信師。  
 説教 梶日出男師。
- 総会
  - (1) 報告事項
    - ① 一九八六年度行事報告。
    - ② 一九八六年度会計報告。
  - (2) 審議事項
    - ① 一九八七年度予算案について。(理事会案を承認)
    - ② 一九八七年度事業計画について。(理事会案を承認)
  - 総会・講演会(五月十一日)、第六回研究会(十一月九日)、全国研究会議(十一月三十日)~十月二日(次年度総会は一九八八年五月九日とする)
  - ③ 理事選出法の改正について。(左記理事会案を承認)
  - ・ 来年の改選期より定員を六名とし、改選数の倍の候補者(被改選理事を含めてもよい)を理事会で推薦し、会員に通知、郵便投票によって選出する。
  - ・ 来年に限り上位三名を二年理事、下位三名を一年理事とする。

- ・ 日時 一九八六年七月~一九八七年六月
- ・ 場所 神戸基督改革宗長老教会  
 礼拝 石丸新師
- 三、神学講演会(出席者十一名)
  - ・ 日時 一九八七年五月十一日  
 (月) 午後一時~四時
  - ・ 場所 金山キリスト教会  
 講師 久保田周師(大阪基督教短期大学教授)
  - ・ 主題 「異教社会におけるキリスト者の生活……特に仏教との関連において……」
- 四、第五回研究発表会(出席者十名)
  - ・ 日時 一九八六年十一月十日  
 (月) 午前十時三十分~午後三時
  - ・ 場所 金山キリスト教会  
 研究発表
  - 「福音と文化」というテーマで  
 ① 金田幸男師 「女性・自由・カ  
 ルヴィン」  
 ② 兼松一二師 「十戒は單なる道  
 律か」

- 五、第十二回西部部会総会報告
  - ・ 日時 一九八七年五月十八日
  - ・ 場所 神戸基督改革宗長老教会  
 礼拝 石丸新師
  - 議事
    - (1) 一九八六年度活動報告、決算報告の承認。
    - (2) 一九八七年度予算案の審議と承認。
    - (3) 改選理事の投票結果の報告と承認。
    - (4) 九州地区活動報告。
    - (5) 九州地区活動報告。
    - (6) 名簿作成を鈴木英昭氏に依頼する。
    - (7) 前任理事に記念品を贈る。
- 六、第一回研究会議(一月二十七日)
  - ・ 日時 一九八六年十月二十七日
  - ・ 場所 久保田周師(大阪基督教短期大学教授)
  - ・ 主題 「異教社会におけるキリスト者の生活……特に仏教との関連において……」
  - ・ 場所 金山キリスト教会  
 研究発表
  - 「福音と文化」というテーマで  
 ① 福森光敏、三野孝一、久保孝司、H・ネットランドの諸氏の東部部会転出を承認。
  - (2) 九州地区活動報告
    - ・ 日時 一九八六年十一月十七日折尾女子学園にて、津村春英、下稻葉康之、安田吉三郎の諸氏の研究発表を行った。

(書記 安村仁志)

## 二、理事会活動(主要議事のみ)

一九八六年七月二十一日

- (1) 川田裕二氏の新入会を承認。
- (2) 学会誌の論文、テーマについて。
- (3) 第四回研究会議準備委員の西部部会選出分の三名の人事について。

- ・ その他の会員の異動の取扱いについて。会員未納者の扱いについて。総会の時期・時間について。
- ・ 志賀教会から、東海聖書神学校に移すこととし、全国理事会にはかる。
- ・ 一九八九年より毎年半数改選とする。(左記理事会案を承認)

## ■西部部会活動報告 ■

(一九八六年七月~一九八七年六月)

- 一、第十二回西部部会総会報告
- ・ 日時 一九八七年五月十八日
- ・ 場所 神戸基督改革宗長老教会  
 礼拝 石丸新師

- 高橋久之氏の外に橋本昭夫氏と石黒則年氏を選出。準備委員長に高橋久之氏を推す。この外に実務委員を委嘱する。

- (1) 川田裕二氏の新入会を承認。
- (2) 学会誌の論文、テーマについて。
- (3) 第四回研究会議準備委員の西部部会選出分の三名の人事について。

- ・ 日時 一九八七年五月十一日
- ・ 場所 同盟福音 金山キリスト教会  
 礼拝 司会 斎藤義信師。  
 説教 梶日出男師。
- 総会
  - (1) 報告事項
    - ① 一九八六年度行事報告。
    - ② 一九八六年度会計報告。
  - (2) 審議事項
    - ① 一九八七年度予算案について。(理事会案を承認)
    - ② 一九八七年度事業計画について。(理事会案を承認)
  - 総会・講演会(五月十一日)、第六回研究会(十一月九日)、全国研究会議(十一月三十日)~十月二日(次年度総会は一九八八年五月九日とする)
  - ③ 理事選出法の改正について。(左記理事会案を承認)
  - ・ 来年の改選期より定員を六名とし、改選数の倍の候補者(被改選理事を含めてもよい)を理事会で推薦し、会員に通知、郵便投票によって選出する。
  - ・ 来年に限り上位三名を二年理事、下位三名を一年理事とする。

(3) 中村智博、三木貞由美、今村幸文、柳田節夫、島井信一郎、柏原繁宣、加藤新平、山崎謙二、山下明彦、安田恵嗣以上の十氏の新入会を承認。

(4) 一九八七年西部部会総会の準備について。

(5) 第四回研究会議の準備情況について。

一九八七年四月十三日

(1) 算簿完成(鈴木理事)。

(2) O・ボンディイビック氏の退会、大嶋博道、国方敏治、田中智恵の三氏の新入会、服部嘉明氏の東部部会転出を承認。

(3) 第四回研究会議の準備情況について。

(4) 学会誌について。

一九八七年五月十八日

(1) 菊地実、坂本美代、三川栄二の三氏の新入会を承認。

(2) 一九八七年の予算案の審議。

(3) 一九八七年度理事会の役割について。

理事長 高橋久之  
書記 橋本昭夫  
会計 工藤弘雄  
学会誌 石黒則年

(注)、前回十七号誌報告中  
(一五六頁)、「一九八五年十月二十七日」は「一九八六年五月十九

「日」が正しいので訂正いたします。  
(書記 高橋久之)

## ■ 全国理事会報告 ■

全国理事会報告	
日時	一九八七年六月一日午後一時五時
場所	名古屋・中小企業センター
一、新年度全国理事会役員構成	
理事長	丸山忠孝氏（東部）
副理事長	高橋久之氏（西部）
書記	河野勇一氏（中部）
佐布正義氏（東部）	
会計	橋本昭夫氏（西部）
	工藤弘雄氏（西部）
・	会員組織の強化のために、権利義務明確化の方向を考える。
・	会費三年滞納の会員には、会にとどまる意志をたずねるなどの方法を提案する。
・	第四回研究会議の予算、遠隔地の参加者援助、今後の準備の手筈などを検討確認した。
・	一九九〇年に迎える福音主義神学会三十周年記念の祝い方について、各部会で検討し、一九八八年の全国理事会で相談する。

・東部部会：一九八七年度の研究会議に備え、「福音と文化」の主題のもとの活発な研究発表活動がなされたことなど。

（書記 橋本昭夫）

西部部会：安田吉三郎氏の後任に高橋久之氏が新理事長に選出されたこと、四国・九州地区の活動の拡大を努力して

中西部会：部会事務所が志賀教会より、東海聖書神学塾に移転したこと、また会員組織のことなど。

の強化のための策を考慮中であることなど。

### 各種援助

一、遠隔地からの参加者にたいして、交通費の一部が援助されます。

の強化のための策を考慮中であることなど。

三、審議した諸事項

- ・ 学会誌の発行部数を千二百と  
の編集委員会提案を承認。
- ・ 全国会計正常化のため部費削

發行 日本福音主義神學會  
編集 大滝信也  
印刷所 ドン工芸

理事長 高橋久之  
書記 橋本昭夫  
会計 工藤弘雄  
学会誌 石黒則年

各種援助

一、遠隔地からの参加者にたいして、交通費の一部が援助されます。

二、神学生について、登録費相当額が援助されます。

三、審議した諸事項

- ・ 学会誌の発行部数を千二百との編集委員会提案を承認。
- ・ 全国会計正常化のため部費削

の強化のための策を考慮中であることなど。

發行 日本福音主義神學會  
編集 大滝信也  
印刷所 ドン工芸